

一般社団法人茨城県経営者協会



茨城経協

CONTENTS

- 01 **第4回理事会**
平成28年度活動計画・予算案、役員の選任などを承認
- 03 茨城産業会議 第3回拡大総会を開催
- 04 **委員会報告**
地域関係／経営教育／科学技術
- 05 **支部だより**
常陸・那珂／水戸／土浦・石岡・つくば／取手・龍ヶ崎／鹿行／共催事業
- 09 「2015会員増強運動」の結果
～年間新入会員数104社・3年連続100社超え～
- 11 新入会員のご紹介
- 13 **経営者・管理者のための挨拶・スピーチのポイント①**<葛田一雄>
「話材と聞き手の心を掴むための意識すべき事柄」
- 15 **NPO情報Vol.186**<横田能洋>
「空家を『ともに過ごす家』に変えるプロジェクトがスタート」
- 16 **セミナー・事業等のご案内**

平成28年度活動計画・予算案 役員を選任などを承認

当協会は、3月10日（木）、茨城県産業会館において、平成27年度第4回理事会を開催した。

会議には理事、監事、参与68名が出席した。



冒頭、鬼澤邦夫会長が挨拶に立ち「日銀水戸事務所の金融経済概況によりますと、『緩やかに回復しつつある』との見方は変わっておりませんが、中小企業にとりましては回復の実感は今一つの感もあろうかと思えます。改めて回復基調が広く波及することを願っております。今年は、本県で、様々な大きなイベント行事が予定されております。5月15日から3日間、伊勢志摩サミットに併せて「G7茨城・つくば科学技術大臣会合」がつくばで開催されます。また、県北芸術祭も9月から11月まで県北エリアで開催されますので、このような材料の恩恵が、県内経済に波及す

ることを期待しております。本日は、事業活動報告、事業計画案、収支予算案、役員を選任についてお諮りしたい。忌憚のないご意見をいただきたい」と述べた。

続いて、①会長および専務理事の職務遂行状況と平成27年度事業活動報告及び同収支決算（見込）、②新入会員の入会の承認、③平成28年度事業活動計画案及び同収支予算案が承認された。（活動方針・重点事項は下記参照）特に、活動計画案のなかでは、第7次中期運営要綱に沿って実施する会員増強活動の年度目標を1,030社とする事務局からの説明があり、理事・参与・各支部役員・会員等組織をあげての活動を実施することとなった。

次に平成28年度定時総会にて決議・選任いただく理事、監事、顧問、参与の案を報告し、満場一致で承認された。

議事終了後、トヨタ自動車株式会社技術統括部主査の金川章孝氏を招き「燃料電池自動車MIRAIの開発と水素社会」と題した講演を伺った。

平成28年度の活動方針（案）

平成28年度は、第7次中期運営要綱（平成26年度～28年度の中期計画）の最終年であり、引き続き要綱に掲げた『会員・地域から頼りにされる茨城経協へと進化する』ことをめざし、①情報収集・情報発信の強化、②会員交流機会の拡充、③研修・セミナー事業のさらなる内容充実、④地域社会への貢献活動の強化、⑤政策提言力の向上の5つの重点に取り組んでまいります。

会員の皆様の課題解決、経営力向上を支援し、企業活力の高揚に取組み、地域経済・地域社会の活性化に貢献してまいります。

また、業種や地域によっては、未だ東日本大震災等からの復興が道半ばであることから、引き続き、関係機関との連携協力に努め、早期復興に役割を果たしてまいります。

【重点事業】

1. 会員の経営力向上のための情報収集・情報発信の強化
(1) 会員の経営に役立つ情報収集・発信

- (2) 人事・労務・人材育成、
人材確保分野の情報収集・
発信
- (3) 人事労務および環境経営
等の経営労務相談活動の
充実
- 2. 会員相互のネットワーク
づくりのための交流機会の
拡充
 - (1) 広域的（全県および他県
経協会員等）な経営者間交
流の機会の拡充
 - (2) 会員企業の経営力・技術
力向上とビジネス交流の
機会の提供・支援
 - (3) 多様な交流機会の拡充
（青年経営研究会、女性活

躍研究会等)

- 3. 会員のニーズを踏まえた
研修・セミナー事業の充実
 - (1) 経営革新を推進する業種
別、階層別研修・セミナー
の充実
 - (2) 先進的経営、環境経営、
人材育成の事例紹介・勉強
会の開催
 - (3) 会員企業の研修等のサポ
ート体制の充実
- 4. 「豊かな茨城づくり」のた
めの社会貢献活動の強化
 - (1) 「安全安心なまちづくり
運動」の継続
 - (2) 次世代を担う若者の育成
のための「県内大学への寄

付講座」の継続

- (3) 新たな地域貢献活動の展
開
- 5. 地域社会発展のための政
策提言力の向上
 - (1) 会員ニーズ把握、政策提
言・要望活動とその実現
 - (2) 経団連、茨城産業会議を
通じた政策提言・要望活動
 - (3) 地域社会への情報発信お
よび連携強化（行政や関係
機関との懇談等）

平成28年度 定時総会開催のご案内

平成28年6月10日（金）

13:30～14:50 総会・議案審議

15:00～16:20 記念講演

株式会社日立製作所 相談役 川村 隆氏

「ザ・ラストマン

日立グループのV字回復に導いた『やり抜く力』（仮題）

1939年北海道出身。東京大学工学部電気工学科卒業後、日立製作所に入社。電力事業部火力技術本部長、日立工場長、取締役、常務、副社長、子会社の日立ソフトウェアエンジニアリング会長、同子会社日立マクセル会長などを歴任したのち、日立本社の会長兼社長に就任。世界金融危機によって7,873億円という巨額な赤字を計上した同社を2年でV字回復させた。元経団連副会長。

16:30～18:00 交流パーティ

水戸プラザホテル（水戸市千波町2078-1）

※ご案内状は4月末送付予定です。

第3回拡大総会 茨城大学との代表者会議を開催



茨城産業会議（鬼澤邦夫議長）は、3月28日（月）、水戸京成ホテルで、第3回拡大総会を開催し、平成27年度事業報告の後、平成28年度事業活動方針案、同収支予算案および産学連携事業のあり方が審議された。また、次期議長選任において、引き続き鬼澤邦夫経営者協会会長が議長に就任することが決まった。

平成28年度事業活動方針は、産業経済界に共通する重要課題について研究協議を進め、共通認識を得ながら、課題解決に向けて提言・啓発活動を行い、各構成団体間の交流を密にし

て、それぞれが主体的に行なう事業に対し必要な支援、協力を行う。また、茨城県が取り組む「産業、生活、イノベーション大県づくり」に向け、施策情報の広報支援と積極的参加・協力を行うこととし、以下の4点を主な事業として決定した。

- (1) 「産業、生活、イノベーション大県」茨城づくりに参加、協力する
- (2) 中小企業再生や震災からの復興対策へ積極的に協力する
- (3) 産学官連携事業の支援に努める
- (4) 次代を担う若者の育成に

努める

また、拡大総会終了後、茨城大学との連携に関する代表者会議が開催され、茨城産業会議からは鬼澤邦夫議長（当協会会長）、和田祐之介氏（茨城県商工会議所連合会会長）、渡邊武氏（茨城県中小企業団体中央会会長）ほか、構成団体の副会長、専務理事が、また、茨城大学からは三村信男学長、尾崎久記副学長ほか幹部が出席し、平成27年度の連携事業の実施報告の後、平成28年度連携事業の実施について協議がなされ、①地域連携講座の継続②茨城大学・茨城県・茨城産業会議連携講演会の開催③茨城大学工学部・理学部の研究室訪問交流会を実施していくことを決定した。最後に、本県の地方創生実現に向けた取り組みや人口減少対策、および地域経済活性化に向けた産業界への期待、大学・学生への期待など、それぞれの立場から活発な意見交換がなされ、散会となった。

地域関係委員会

第2回 地域関係委員会を開催

地域関係委員会(委員長 徳成卓也氏 東日本電信電話(株)茨城支店長)は、3月2日(水)経営者協会会議室において、27年度第2回目の委員会を開催。徳成委員長、豊崎繁副委員長(茨城いすゞ自動車(株)代表取締役社長)はじめ16名出席のもと、27年度事業活動状況の報告と茨城のイメージアップに貢献できる活動の検討、ならびに茨城県警と覚書を締結したニセ電話詐欺撃退プロジェクトへの協力・貢献策について協議された。

いばらきのイメージアップに貢献できる活動については、JR常磐線の品川駅延伸の好材料を活用、東京都民・神奈川県

民を中心に県外からの茨城観光誘客を促進する切り口として、地方創生の一環として今年の秋に開催を予定している「茨城県北芸術祭」への東京圏住民を対象とした誘客イベント事業を例として建設的な意見が数多く出された。同芸術祭の準備動向をみながら、次回委員会時に具体的な事業内容を協議することが確認された。

働く世代からのニセ電話詐欺撃退プロジェクトに対する事項については、実際にニセ電話詐欺に遭遇された経営者協会役員が、生々しい実話をもとに詐欺グループの手口を紹介、



県警と連携して情報発信を行っている啓蒙活動状況について説明、理解を深めた。

今後会員企業で予定している模擬訓練の対象を広げていくなど地道な取組みを継続していくことが必要、などの意見が出された。

経営教育委員会

経営教育委員会が教育問題懇談会を開催 川村学園女子大学を訪問



経営教育委員会(委員長 植木誠氏 (株)筑波銀行代表取締役副頭取)では、同委員が大学等の教育機関を訪問し、実際の教育現場の視察やキャリア教育の現状等について意見交換を行う“教育問題懇談会”を3月15日(火)に開催。今回は、千葉県我孫子市に所在している川村学園女子大学を訪問、双

方合わせて17名が出席、意見交換を行った。

同懇談会は、次代の若者を育成する教育現場の実情を伺うべく、関係者との意見交換や、実際の教育現場を見学させていただくなど、企業と教育機関の情報交換の場として、平成16年度より継続して開催しているもの。

当日は、熊谷園子川村学園女子大学学長、同大教育学部長の松井洋教授、同大就職支援室の塚本一史室長はじめ多くの方々より、同大の沿革から教育体系、昨今の学生の職業観とそ

の傾向について説明いただいた。

同大は目白にもキャンパスを配置しており、訪れた我孫子キャンパスは落ち着いた環境のなか、学生生活から就職までフォローする手厚いサポートプログラムは魅力的であり、教員と学生も大変良い関係性を保たれている印象を受けた。

同大からの意見として「人材の確保が難しいと言われてきた昨今、茨城県内での知名度はまだまだ浸透されていない印象もあり、産業界との交流をより深めながら、社会で活躍する人材を更に輩出するよう寄与していきたい」といった心強い意見もいただいた。

科学技術特別委員会(委員長 村山貢一氏(株)日立製作所電力システム社日立事業所長)、古河・坂東地区支部(支部長 阪好弘氏 京三電機(株)取締役社長)、県西地区支部(支部長 佐藤計二氏 日立化成(株)下館事業所長)は、去る3月18日(金)、「ものづくり先進企業見学会」を開催し、計57名が参加した。

本見学会は例年、会員企業の製品開発能力や技術向上の一助として、ものづくりをされている先進企業の取り組みを見聞し、生産現場の改善や革新的なものづくり精神などを学ぶ機会として実施している。

今回のものづくり先進企業見学会では、車の“走る・曲がる・止まる”の根幹を担う製品を提供し続け、金属・樹脂チューブやブレーシング製品などを安定供給している、三桜工業(株)古河事業所のご協力をいただいた。

当日は始めに、同社執行役員 グローバル製造本部副本部長の孕石氏よりご挨拶いただき、続いて会社概要をグローバル総務部長の小林氏よりご説明後、製造現場の組立ラインを見学した。

同社では、23カ国80カ所に製造拠点を有するグローバル自動車部品メーカー。自動車・輸送用機器用配管製品や自動車用樹脂製品等の製造・販売を行っており、全ての製品の加工設備を自社で開発・設計・製作している。設備製作部門の生産技術開発部にて、設備の設計・組立分野と研究・開発分野それぞれのエキスパートが連携し、「手づくり」と「創意」の精神で世界一と誇れる設備を生み出している。自社製品を知り尽くしているからこそ、高い生産性・高品質を実現する革新的設備を生み出すことが可能であり、これが、設備専門メーカーとは異なる大きな強

み。平成27年度には、茨城県が主催している「ハーモニー功労賞」を受賞し、女性が活躍するための職場づくりを積極的に推進している。

参加者からは「世界の自動車産業が拡大するなか、世界中のお客様の要望に応じ、環境負荷が少ない新製品の開発や新技術を生み出している姿を見聞することができ有意義であった」など、製品の加工設備を内製し、高い生産性・高品質を実現されている凄さを目の当たりにした。



支部だより

APR. 2016

Branch office report

常陸・那珂地区支部

人事総務セミナーを開催



常陸・那珂地区支部(支部長 柳生修氏 コロナ電気(株)代表取締役)と水戸地区人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株)執行役員総

務部長)は共催により、3月23日(水)、茨城県産業会館大会議室で“人事労務セミナー”を開催。参加者数は55名。

今回のテーマは「従業員の精神的不調をめぐる法律と実務対策～トラブルを回避し現場の混乱を防ぐ上手な進め方～」と題し、講師には“使用者の視点に立った指導で非常に解りやすい”と参加者からの評価が高い、丸尾法律事務所の丸尾拓養弁護士を本年もお招きし、解説いただいた。

冒頭、丸尾氏は「昨今トラブ

ルが増加している原因として、従業員の休職明けの復職時に揉めるケースが非常に多い。企業としてどう対処すべきだったか?と問われれば、最も留意すべき点は休職に入る前であることを認識していただきたい。この初動対応をしっかり押さえておくことが、労務担当者としてトラブルを回避するポイントとなる」と話し、“適応障害”“新型うつ”“アスペルガー症候群”など最近の判例を事例にしながら、企業としての対応について詳しく解説い

ただいた。

参加者からのアンケートでは「毎回、丸尾講師のお話は具体的でしっかりした見解も述

べられるので、大変勉強になる。時には厳しい判断をせざるを得ないケースもあるが、労務担当として日頃よりトラブルに

ならないよう心がけていきたい」といった感想等が多数寄せられた。

水戸地区支部

平成27年度第3回役員幹事会を開催



水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店 代表取締役社長)は、3月7日(月)

経営者協会会議室において、平成27年度第3回役員幹事会(幹事長 梅林富士夫氏 (株)ニコン水戸製作所長)を開催した。

西村支部長の挨拶後、本年度の支部活動の振り返りならびに、来年度の支部活動計画(案)などに関する報告・協議がなされた。

来年度の主要事業のスケジュールや、事業の内容および講師(案)については、本会議で寄せられた意見をもとに、事務

局案を作成し、平成28年度第1回役員幹事会のなかで、事業の具現化に向けた協議を行っていくこととした。

また、会員満足度調査結果を踏まえた今後の取組みや、会員増強運動において当面の目標である会員数1,000社の早期達成に向けた積極的に取組みについても確認をした。

水戸地区支部

水戸地区人事労務担当者会議役員会を開催

水戸地区支部(支部長 西村寛氏 (株)水戸京成百貨店 代表取締役社長)の水戸地区人事労務担当者会議(代表幹事 川上康郎氏 茨城交通(株) 常務執行役員総務部長)は、平成28年3月25日(金)、経営者協会会議室において、役員会を開催した。

報告・協議事項では、まず初めに平成27年度の事業活動報告が事務局より行われ、各事業の参加状況、セミナー参加者か

らのアンケート意見、運営面の課題などが報告された。

続いて、平成28年度の活動計画案について、5月開催予定の総会特別講演や年2回行われる公開セミナーのテーマ・講師、合同隣地研修会などを協議した。セミナーのテーマ・講師選定については、企業が抱える人事労務の課題について、過去の開催実績や最近の動向に則した事案をもとに、活発な意見交換がなされた。

最後に、次年度役員体制について、原案通り承認され、平成28年度の役員体制が決定した。



土浦・石岡・つくば地区支部

支部総会を開催

土浦・石岡・つくば地区支部(支部長 本井正氏 日立建機(株) 執行役開発・生産統括本部副本部長)は3月3日(木)、

ホテルマロウド筑波において、平成27年度支部総会を開催した。

はじめに本井支部長が「支部

会員の皆様におかれましては、何かとお忙しい中、支部総会にご出席頂きまして、誠にありがとうございます。まずは、昨年

度に引き続き本年度も支部役員、会員のみなさまから多大なるご協力を得まして、入会勧誘運動を展開したところ、協会全体で95社にご入会頂きました。そして92社の内、32社が当地区支部にご所属頂きました。協会の会員数としては、974社となり、79社の純増となりましたこと、厚く御礼申し上げます。入会勧誘運動の成果として、もう少しで会員数1,000社になるうとしております。次年度は1,000社を超える会員のみなさまに満足頂ける活動を展開して行きたいと考えております。ぜひ本日まで参加のみなさまにおかれましては、支部活動において今後、取り組むべきテーマなどについて、忌憚のないご意見をお聞かせ頂きたいと思っております」と挨拶をされた。



引き続き、澤畑専務理事より経営者協会事業活動の概要について、支部担当事務局より支部活動について報告がなされた。

引き続き開かれた講演会では、テラモーターズ(株)代表取締役の徳重徹氏に「新産業の創出 EV革命とベンチャー企業の役割」をテーマにご講演を頂いた。

徳重氏は「私は東南アジアを中心に電気バイクの普及という新しいビジネスモデルを確立しようとしている。アジアで事業をはじめて気がついたことは『日本の企業』ということ、とても強みであるということ。アジア諸国においては、『日本』そして『日本企業』に対する信頼は高い。『日本』発のベンチャー企業は、他国に比べて、アジアでの事業展開がしやすい環境といえる。一方、事業環境は有利に働いているとしても、新規事業、新たな市場への参入は不確実なことばかり。事業を成功させるためには、不確実性に対する耐久性、ストレス耐性を備えた人材をいかに



集めるかが鍵となる。いわゆるグローバル人材を集める上で重要なことは、『何をを目指すか』という明確なビジョンであると思う。明確なビジョンに共感する人材であれば、不確実性の高い環境に置かれても耐えることができる」とアジアでの事業展開と人材について述べられた。

講演終了後には、徳重氏の講演を深めるため、参加者全員が参加し、グループディスカッションを行った。ディスカッションでは、講演内容を自社の経営にあてはめ、共感する点や自社でも取り入れることができる考え方などが活発に話し合われた。

最後に交流パーティにて懇親を深め会を閉じた。

取手・龍ヶ崎地区支部

「ほんまものサービスはこれや!」をテーマに講演会を開催



取手・龍ヶ崎地区支部(支部長 小早川忠氏 キリンビール(株)取手工場長)は、3月8日(火)、キリンビール(株)取手工場において、工場見学・講演会・講師を囲む交流懇親会を開催した。

講演会では、「ほんまものサービスはこれや!~ナニワのカリスマ添乗員が本音で語る~」と題

し、(株)日本旅行 西日本営業本部 個人旅行営業部担当部長の平田進也氏に、ご講演いただいた。

平田氏からは「私の考える顧客満足とは、目の前のお客様を徹底的に喜ばすこと。私は、お客さまを究極に喜ばせるために、その相手にニーズに適した情報を気の済むまで仕入れている。ターゲットを明確にし、その相手の心をつかめば「あなたから買いたい」というファンはついてくる」と、現場で鍛えて磨きぬいてきたサービス精神などを説いた。

平田氏は浪速のカリスマ添乗員で、テレビでもおなじみの驚異的な売上げ「年間8億円」を記

録する。豊富な経験と巧みな話術を生かした「平田氏と行くツアー」には若者から熟年の方まで、幅広い年齢層から申込みが殺到。リピート率は非常に高く、お客様は場所や目的よりも平田氏と行くツアーで参加する。また、社長命により企業内独立「ヒラタ屋」を仲間と立上げたり、お客さまからの希望で発足した「平田進也旅行クラブ「進子ちゃんクラブ」」は22,000名を超える会員数を誇る。

講演会終了後には、平田氏を囲んでの交流懇親会も行い、参加各社から講師に対し積極的に質問をするなど、交流を深め散会した。

鹿行地区支部 労働問題研究会（代表世話人 石田晃康氏 新日鐵住金（株）鹿島製鐵所労政室人事室長）は、3月17日（木）、新日鐵住金鹿島人材育成センター会議室にて、公開例会を開催。「早期離職の防止 & 新人の定着～採用・育成・定着の進め方を具体的にわかりやすく解説～」と題して、（株）オフィス55代表取締役の高木茂氏をお招きして、ご指導いただいた。45名の参加。

高木氏からは「求人しても応募者の確保に苦勞する、せっかく採用に繋がっても早期に退職してしまう、といったケースは数多く、経営に支障をきたす

深刻な問題である。こうした問題に効く“特効薬はあるのか？”と聞かれば、私は“ない”と答えている。私の経験上、組織において、小さな工夫の一つ一つの積み重ねにより、個々人の“帰属意識”や“ロイヤルティ”を高めていくことが大切だと感じている」と冒頭に語られた後、成功した事例や上手く機能しなかった事例など、これまで指導してきた経験をもとにお話しをいただいた。

参加者アンケートでは「振り返ると、対象者となる新入社員



ローできていたか？と自問すると自信がない。今回の高木講師の指導を伺い、実践できることからチャレンジしていきたい」といった感想が寄せられていた。

平成27年度労働行政懇談会を開催



労働企画委員会（委員長 館岡司氏（株）日立製作所電力システム社日立事業所副所長）、日立地区支部（支部長 土屋静治氏 日立電鉄交通サービス（株）取締役社長）、常陸・那珂地区支部（支部長 柳生修氏 コロナ電気（株）代表取締役社長）、水戸地区支部人事労務担当者会議（代表幹事 川上康郎氏 茨城交通（株）常務執行役員総務部長）は、3月2日（水）、茨城県産業会館大会議室において、労働行政懇談会を開催、定員を上回る64名が参加した。

当懇談会は例年茨城労働局より講師を招き、労働関連法制や行政施策についてご説明いただいている。また、当日は、茨城県警察本部ニセ電話詐欺対策室より講師を招き、犯罪認知件数が増加の一途をたどり、深刻な社会問題化している「ニセ電話詐欺」に関するテーマについてもご説明いただいた。そうしたことから、今年度は2部構成、下記の6つのテーマで開催した。冒頭には主催者を代表し、当協会澤畑専務理事よりご挨拶申し上げた後、担当講師よりご説明いただいた後、質疑応答を実施し、活発な意見交換がなされた。

<第I部 13:30～15:45>

テーマ①「働き方改革の取組み」について

講師：厚生労働省茨城労働局 監督課長

佐川 正孝氏

テーマ②「ストレスチェック制度」について

講師：厚生労働省茨城労働局 健康安全課長

工藤 好央氏

テーマ③「改正パートタイム労働法」について

講師：厚生労働省茨城労働局 雇用均等室長補佐

渡邊 宏子氏

テーマ④「女性活躍推進法」について

講師：厚生労働省茨城労働局 育児・介護休業指導官

渡邊 朋子氏

<第II部 16:00～16:45>

テーマ①「ニセ電話詐欺」の最近の手口、被害実態について

講師：茨城県警察本部 刑事部 捜査第二課課長補佐

廣木 淳氏

テーマ② 被害防止策、従業員への啓発について

講師：茨城県警察本部 刑事部 捜査第二課課長補佐

廣木 淳氏

『2015会員増強運動』の結果

～ 年間新入会員数104社・3年連続100社超え ～

1. 3月の状況

3月は、入会9社、退会5社、前月比プラス4社の実績で会員数981社（前年度比83社増加）となり、年度当初目標を31社上回り、1,000社の大台にあと19社まで迫ることが出来ました。

役員・幹事の皆様、会員の皆様のご協力ご支援に感謝いたします。

2. 『2015会員増強運動』について

会員の状況（3月31日現在）

項目	支部									
	県北	日立	常陸・那珂	水戸	土浦・石岡 つくば	取手・ 龍ヶ崎	県西	古河・坂東	鹿行	合計
26年度末会員数	39	94	80	259	133	66	71	53	103	898
入会数	1	11	17	27	34	3	7	2	2	104
退会数		2	2	4	6		3	1	3	21
会員数	40	100	95	282	161	69	75	54	102	981
前年度比										83

平成27年度目標 (年度当初目標)	970 (950)	目標比	11 (31)
----------------------	--------------	-----	------------

平成27年度は、協会の事業運営の指針であります「第7次中期運営要綱」の中間年度として、会員の皆様の相互啓発やビジネス交流の活性化を加速させるために、『2015会員増強運動』に取り組んできました。中だるみをする事なく、9月末には当初年度目標の950社を達成、2月末には、上方修正しました目標970社に到達しました。本部支部役員、各委員会委員、会員の皆様から、幅広くお知り合いの方をご紹介いただき、年間新入会員数は104社と昨年度を4社上回る企業様にご入会いただけましたこと、深く御礼申し上げます。

3. 『2016 会員増強運動』 ～ 年度目標：会員数1,030社に向けて ～

平成28年度は「第7次中期運営要綱」の最終年度として、『会員数目標1,000社（29年7月：創立70周年）』を確実にする為にも、「28年度末会員数1,030社」を年度目標として会員増強運動を展開します。

つきましては、会員の皆様におかれましては、お知り合いの企業様を、是非お誘いいただき、右ページの「紹介票」にて事務局までご連絡いただけますようお願い申し上げます。

なお、「2016会員増強運動」の進捗状況等につきましては、この「茨城経協」を通じて、随時会員の皆様へお知らせしてまいります。

引き続きご協力のほど重ねてお願い申し上げます。

【2016 会員増強運動】 入会見込先 紹介票

茨城県経営者協会 行き

FAX : 029-224-1109

御社名	
役職氏名	
T E L	

“2016 会員増強運動” の入会見込先として、下記のとおりご紹介致します。

【入会見込先の情報】

No.	会社名	電話番号	先方担当者（役職氏名）	連絡方法（○印）
1			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
2			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
3			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
4			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由
5			役職：	直接連絡可
			氏名：	ご紹介者経由

【備考】

--

※恐縮ですが、コピー、ご記入の上、FAXくださいますようお願いいたします。

新入会員紹介

アオキ株式会社

■代表取締役 青木 正紀



Data

所在地／石岡市杉並1丁目7番16号

T E L 0299-22-2226

F A X 0299-36-0022

業 種／建築資材販売及び工事業
従業員／ 145名

Appeal point

弊社は、明治28年創業以来、「優れた製品とサービスを通じて、人々の豊かで快適な住生活を築き、地域と社会の明るい未来に貢献する」という企業理念を掲げ現在は、ビル用・住宅用のアルミサッシ・ガラス・エクステリア外壁建材・住設機器・内装建材・太陽光発電設備等の販売及び工事を行っております。

多様化するお客様のニーズにお答えする為、各部門、各工場ともISO9001・JISを取得し日々、品質の向上に努めております。

常磐建設株式会社

■代表取締役 佐藤 悟



Data

所在地／龍ヶ崎市2957番地

T E L 0297-62-2121

F A X 0297-64-2780

業 種／建設業
従業員／ 35名

Appeal point

昭和17年創業以来 74年にわたり、微力ながら都市空間の創造と建設に携わってまいりました。21世紀を迎えた今、あらゆる分野で環境が取沙汰され、私たち建設業におきましては、人と自然の調和をはかりながら、人と人とのふれあいを大切にする「人間空間」としての「環境」を念頭においた家創り、村創り、都市創りが大きな課題となっております。

当社はいち早くISO9001認証取得を果たし、品質方針を「誠実と和の誠心を基本理念とし、お客様満足度の向上と安定した製品の提供を図り、信頼し安心してご発注いただける会社組織を構築し、すべての地域に貢献できご愛顧いただける企業を目指す」と定めてあります。

先達から頂いた歴史と偉業の素晴らしさを継承し、経営の合理化を推進し、研鑽をかさね、21世紀のニーズに即応できる企業体質を醸成し、時代にあった脱皮を繰り返し「質の優良企業」へとステップアップをはかり、確かな社会資本としての都市空間を次世代に手渡すための開拓者魂を持ち続けてまいります。

新日鐵住金ステンレス株式会社 鹿島製造所

■執行役員鹿島製造所長 古谷 誠英



Data 所在地／鹿嶋市光2-1
T E L 0299-84-3773
F A X 0299-84-3774
業 種／製造業
(ステンレス鋼の製造)
従業員／約200名
(鹿島製造所のみ)

Appeal point

昭和43年に鹿島日本ステンレス株式会社として創立以来、長年にわたり冷間仕上ステンレス鋼帯の製造を行っています。平成15年10月新日鐵住金ステンレス(NSSC)として新たにスタートし、家電製品、厨房機器、自動車排気系等に使用されるステンレス薄板の製造基地として培ってきた製造技術を数々の製品分野に生かしています。創業以来の革新的精神を軸に高水準の技術力・開発力・課題解決力を持って社会に貢献いたします。

株式会社美鈴

■代表取締役社長 鈴木 哲哉



Data 所在地／東茨城郡茨城町海老沢20-11
T E L 029-240-8050
F A X 029-240-8051
業 種／医療品等小売業
従業員／82名

Appeal point

昭和56年茨城町に個人薬局として創立、平成元年法人設立以来水戸市を中心に11薬局を運営し、地域の消費者の健康パートナーとして現在に至っております。

医療品と医療のプロフェッショナルとして地域の皆様に信頼される薬局を目指し、経験豊富な薬剤師とともに日々研鑽を重ねて参ります。

株式会社ロケットスタートホールディングス

■代表取締役 星 栄一



Data 所在地／つくば市千現2-1-6
つくば創業プラザ106
T E L 029-893-3626
F A X 029-893-3612
業 種／求人広告代理店
ITサービス
従業員／26名

Appeal point

弊社は、リクルート求人メディアの正規代理店として2014年7月に創業。現在は人事領域だけでなく、IT領域にも取り組んでおり、サイボウズ社の公式パートナーとしてクラウド型グループウェア開発・導入サポートも行っております。

地方の人手不足が深刻化する中で、地域企業が生き残っていくために必要なのは「人事×IT」の力ではないか、と考えます。弊社はベンチャーだからこそ出来るスピードアクションと自由で柔軟な発想で、お客様のお悩みに具体的な打ち手を持ってお応えし、地域企業と街の活性化に貢献いたします。

挨拶・スピーチのポイントの新シリーズです。翌月の挨拶に役立つよう4月号では5月の話題について取りあげてあります。

5月の茶花…さつき・都わすれ・敦盛草・黒百合・花菖蒲・杜若・木通・二人静
時節の花は、話し始めや話の接穂として欠かせません。

5月の話材

五の読み方は、「いつつ」や「いつ」とも言いますが、多くは「ご」と読み、五体、五行、五節句です。
話材1. 健康第一です。

「健康診断は、自分を守るためですが、チームの仕事を守ることにもなります。健康診断は何をおいても受診して下さい」

五体とは、身体を構成する5つの部分です。それでは、五体とはどの部分でしょうか。まずは、筋、脈、肉、骨および毛皮を五体といます。頭、両手、両足のことも五体です。さらに、頭、頸、胸、手、足のことも五体といい、全身を対象として五体という場合もあります。

五体という用語を使用するときの禁句は、「五体満足」です。かつて、「歩けるから人間」、「歩くから人間」という表現には差別性があるということで禁句になりました。事故や病気で足を欠損して歩くことが困難な人物は人間ではないということになるからです。

話材2. お元気ですか。

「気力を充実して仕事に専念して下さい」「5月を英語にするとMAY。MAYとは人生の盛りや青春のことです。春の英語はSpringですが、芽吹くという意味があります。5月は爽やかな気候が続きます。活力をもって仕事に向きあって下さい」

五行は、中国由来の哲理です。天地の間を循環流行して停滞や休息をしないものをいいます。木、火、土、金、水の5つの元気のことです。

話材3. 節句は節目です。

「ゴールデンウィークで英気を養って下さい。緩急、オンとオフ、気を張ってばかりでは限度を超えてしまいます」

休暇は何日あるのかも価値ですが、大事なことは取得してこそその意義です。

5月の動機づけスピーチ

真っすぐに伸びなさい、より高く成長しなさいという意味合いを込めて、竹を引用することがあります。竹はイネ科タケ亜科の多年生常緑木本の総称ですが、タケ群とササ群に大別できます。そもそも竹は木でしょうか、それとも草でしょうか。樹木とは異なっていますし、軟らかい茎を有する草とも違いますから、竹はタケ科であるという植物学者もいます。

1. 新入社員を動機づける

竹の茎は木質化し、隆起した節があります。地上茎と地下茎に分かれ、地上茎は直立し、葉は狭長扁平で先端はとがっています。地下茎は節部から根および筍（たけのこ）を生じます。竹の地下茎から出る新芽である筍を新人に例えることがあります。

「竹の隆起した箇所を節（ふし）と言います。それでは、節と節との間を何というのでしょうか。音節のことは、ま、間も、ま、といますが、音節は、よ、とも読みます。竹や葦など茎の節（ふし）と節（ふし）の間は節（よ）です。節（ふし）をへだてて節（よ）ごとに（竹取物語）です。節（よ）は語源から同じものが世や代です。限られた時間の流れを世あるいは代と言います」

ここまでは、知識の披瀝です。

「専門性を身につけて専門職として成長して下さい。しかし、世間あつての専門職です。専門職である前に、世間に通じる人間として人間性を陶冶してください。専門という節（ふし）づくりのために節（よ）

の中で通じる人間になってください。世の中で通じる人間として四本柱を立ててください」
四本柱とは、次の4つのことです。

①挨拶ができる

ニコニコ、ハキハキ、キビキビとした挨拶を先手でできることです。挨拶は先手必勝です。

②法律や規則を守る

してはいけないことはしない（不作為義務があることは作為しない）、しなければいけないことはする（作為義務あることを不作為としない）、つまりは遵法です。

③約束を守る

将来にわたって取り決めたことが約束です。新人は誰もが将来が約束されています。約束を守らないとしたら将来に対する保障はありません。

④時間を守る

時の流れの2点間を時間といいます。空間と共に人間の認識の基礎を成すものが時間です。

「時間の長さは万人に平等ですが、遅刻など決まった時刻を守ることができない人物には活動できる時間が少なくなりますから時間は平等ではありません。時間を守ることが出来るようになると、時間を割く（さ）くことができるようになります。時間を割くとは忙しい中で、その事のために特に時間を使うことです」

2. 新任管理者を動機づける

管理とは、人をして目的あるいは目標を達成することです。そこで、管理者とは何をなすべき人物かが問われます。率先とは師先とも書きますが、師として衆に先立って行うことです。垂範とは模範を示すこと、あるいは他の手本になることです。率先垂範とは、人に先立って模範を示すことです。管理者は部下に模範を示すことができる人物です。

「模範を示すだけが管理者ではありません。人に先立って自ら行うことを率先躬行（そっせんきゅうこう）といいます。管理者の役割には率先躬行が欠かせません」

率先垂範はモデルを示すことですから、先達の管理者の模倣をすることから始めればよいこととなります。しかし、率先躬行となると模倣ばかりではありません。そこで、利休百首の最初の言葉を体現することが相応しいと思います。

「その道に入らんとする心こそ わが身ながらの師匠なりけり」

その道で生きていくと思った心意気こそが自分の師匠という意味です。管理者として目的や志がなければ行動はともなわないでしょう。

そこで、管理者の心意気とは何かを新任管理者に諭すことが必要になります。

「管理者とは偉い人ではありません。管理者とは辛いことを受容することができる人です。職場で休暇や欠勤で欠員があったときに、その場、その場で、対応しなければなりません。休んでいる部下の仕事を部下の立場で担当しなければならぬのです。管理の仕事は勤務時間が終わってから行えばいいのです」

3. 孫や子どもの習い事を動機づける

稽古事はいつか来た道です。親に無理やり勧められて、ピアノやヴァイオリンを習った体験はありませんか。才能があると先生におだてられてみたものの上達しないまま、稽古が辛くて、結局はやめてしまったという苦い体験はありませんか。

音楽は「音我苦」が始まりです。しかし、苦しいだけの気持ちでは続きません。孫や子が「音我苦」と感じているときに叱ることはタブーです。ともかく褒めることです。発表会には応援に出かけて行って生の音を体感してください。やがて、音学になっていくものです。真似て学ぶことに面白さや興味が出てくるものです。そうなれば、音楽です。楽しくなるものです。

「いい音、いいね。来てよかった」

他の子どもと比較する表現はタブーです。他の子どもと比較するのは欲目です。前回の発表会と比較することも控えてください。前回よりは難易度の高い楽曲に挑戦しているのですから比較する対象ではありません。

県内の知見にヒントあり

「楽は苦の種 苦は楽の種」

根本正（しょう）の座右の銘です。根本は那珂市東木倉で生まれました。啓蒙学者中村正直の塾で英語と西洋の学問とキリスト教を学び、苦学してアメリカに留学し、バーモント大学を卒業しました。明治31年に衆議院議員に当選し代議士となり、中南米移民促進、国語調査会設置、ローマ字調査審議会設置、高層気象台（茨城県谷田部町）設置、水郡線建設などの政治的業績を残し、昭和8年、83歳で永眠しました。根本は、国民全員が平等に義務教育を受けることこそ国の発展と拡大に必要と考えて尽力しましたし、未成年者をタバコや酒の害からまもるため未成年者喫煙禁止法および未成年者飲酒禁止法を成立させました。

空家を「ともに過ごす家」に 変えるプロジェクトがスタート

茨城NPOセンター・commons代表理事 横田 能洋

常総市で水害からの生活と地域の再建に取り組んでいる助け合いセンター juntos では、新たなチャレンジを始めました。水害で失われた住まい、楽しい時間、人のとのつながりを皆でもう一度創り出すということ、さらにその活動に色々な人が関わることで、豊かで安心できるコミュニティを作るチャレンジです。

具体的には、関東鉄道常総線の北水海道駅から徒歩3分くらいのところにある旧「ビジネスホテル」を様々なコミュニティの活動拠点として開放します。

この周辺は水害の際は1メートル前後の浸水があり、ほとんどの家が床や壁を張り替える工事を行っています。未だに工事が終わっていない家や、取り壊してさら地になったところもあります。地域の人がお茶のみに集っていたレストランが閉店して空き地になり、集会所も壊されるなど集まる場所がほとんどありません。そ

こでまず集会スペースを貸し出しています。毎週金曜と第二第四火曜には二つの生協の主催でサロンが開かれるようになりました。厨房もあるので、料理教室も時々開かれています。このまちにはブラジルやフィリピンの方も住んでいるので世界の料理が味わえる機会も作ります。暖かくなりましたので、近くの市民農園を借りて野菜作りをしたり、日曜大工教室を開いて、ベンチとか家具とかを作り必要な方に届ける活動を始めます。この活動では地域の男性の方々や就労訓練を受けたい若者に活躍してもらいたいと思っています。元ホテルなので大きな風呂もあり、20名近くは宿泊もできます。一時的に家に住めない方、数日泊まりこみでボランティアに来ていただける方に宿を提供します。まちづくりや住まいづくりなどを学んでいる学生や研究者の方も受け入れ、住民の皆さんと一緒に、町の再生に向けた実験をして

いきます。その実験の一つが、多様な人が助け合いながら共に暮らすグループハウスづくりです。住んでいたアパートが住めなくなったり、家を壊すことになったけれど水海道で暮らしたい人、高齢で一人暮らしでは不安がある人などが、長屋のように、同じ屋根の下で暮らすというものです。個室はありますが風呂や食堂は共同で、見守り役も常駐します。さらに若い人にも住んでもらい、それぞれが役割を担うというものです。これが具体化できれば、住み慣れた街で、楽しく安心して暮らせます。被災した常総市だからこそ、こうした共同の住まいの実験ができます。住宅や福祉、まちづくりに関わる事業者の方にもこのプロジェクトにご参加いただきたいと思います。従業員の方の研修を兼ねたボランティアも随時受け入れています。詳しくは juntos-joso.org をご参照ください。

平成28年度・セミナー開催のご案内

※2016年4月1日時点の計画です。下記セミナー以外にも、様々なテーマでの開催を予定しております。
詳細につきましては、当会報&協会ホームページを通じご案内して参ります。

対象	セミナー名	内 容	開催月日 (会場)
取締役・幹部	マネジメントマスターコース (4回シリーズ)	役員&経営幹部を対象に、責務と役割 (組織の変容と変革) を学ぶ。	9/2, 9/9, 9/16, 9/28 茨城県産業会館
管理者・リーダー	マネジメント力向上研修 (3回シリーズ)	管理者に組織運営上求められるスキルMTP (Management Training Program) を学ぶ。	29年1月開催 県南エリア開催
新任管理者&リーダー	新任管理者研修 (2回シリーズ)	リーダーに必要なリーダーシップ、部下育成、コミュニケーションを学ぶ	6/15, 6/20の開催 茨城県産業会館
総務担当者	総務担当者向け研修 (2回シリーズ)	期待される総務担当者になるための基本と実務	7~8月の開催 茨城県産業会館
職場リーダー	職場リーダーグレードアップセミナー	部下のやる気と企業の活力を高めるノウハウ	7月27日 (水) 開催 茨城県産業会館
若手社員	マナーアップ&クレーム対応セミナー	状況に応じたビジネスマナーを実践しながら学ぶ	6月7日 (火) 開催 茨城県産業会館
新入社員	新入社員フォローアップセミナー	入社から半年間の振り返り、2年目に飛躍的成長を遂げるための心構えを学ぶ	10月19日 (水) 水戸市内
衛生管理者	第I種・II種衛生管理者受験対策講座 (2日間コース)	第I種・II種衛生管理者資格 (国家試験) 取得支援事業。講師は試験対策で評価の高いウエルネット専属講師。	8月開催 水戸開催
若手社員、製造幹部	ヒューマンエラー防止セミナー	交通心理学を活用した交通事故防止、産業行動学を活用した労働災害防止を学ぶ。講師は中村隆宏氏 (関西大学社会安全学部教授)	10月28日 (金) 開催 新日鐵住金鹿島人材育成センター
経理担当者	経理セミナー (基礎編)	経理の実務について学ぶ	10月5日 (水) つくば研究支援センター
経営者・経理担当者	経理セミナー (応用編)	決算書の見方、読み方の視点について学ぶ	10月21日 (金) つくば研究支援センター
営業担当者	営業社員セミナー (2回シリーズ)	アポイントから成約までの営業のポイント、アフターフォロー、新規開拓の要諦を学ぶ	8/18, 8/24 ホテルグランド東雲
品質・環境管理部門責任者~担当者	ISO14001・9001内部監査員養成研修会	ISO14001・9001規格の内部監査員を養成する2日間の研修	(14001規格) ①6/16~17 ※2004版 ②9/15~16 ※2015版 ③11/10~11 ※2015版 (9001規格) ①7/14~15 ※2008版 ②10/13~14 ※2015版 ③12/15~16 ※2015版 (全て水戸開催)

【お問合せ先】

一般社団法人茨城県経営者協会 事務局：加藤、澤畑英史

Tel 029-221-5301 Fax 029-224-1109 Eメール：sawahatah@ikk.or.jp

厚生労働省茨城労働局からのお知らせ

学生アルバイトの労働条件の確保について

高等教育機関への進学率が上昇し、アルバイトで働く学生の割合が増加傾向にあります。

一方で、労働条件を巡るトラブルも多く、事業主の労働条件の明示や関係法令の遵守など適切な労務管理が求められているところでもあります。またアルバイトとして働く学生自身も、関係法令の知識を身に付けておくことも求められています。

厚生労働省茨城労働局には、法令の知識を身につけるため、労働問題の未然防止のため、問題に直面した場合のために、下記の相談窓口等が設けられています。

是非、ご活用ください。

- 労働条件相談ホットライン（0120-811-610）
- 茨城労働局・各労働基準監督署の「総合労働相談コーナー」
- 厚生労働省労働条件ポータルサイト「確かめよう労働条件」

<http://www.check-roudou.mhlw.go.jp/>

サイト内の ・「アルバイトを雇う際、始める前に知っておきたいポイント」

・「労働条件や労務管理に関するQ&A」をご覧ください。

【お問い合わせ：茨城労働局監督課 029-224-6214】

地域のために 未来のために

筑波銀行は、より充実した金融サービスのために。

そして、もっと豊かな日々の暮らしのために。

地域エリアの皆様とともに、


未来に向かって力強く前進いたします。



筑波銀行は地域振興支援プロジェクト『あゆみ』に取り組んでいます。



<http://www.tsukubabank.co.jp>

 筑波銀行
Tsukuba Bank



Re-Tem



すぐに役立つ各種セミナー開催中
詳しくはこちらから⇒



QRコード

資源リサイクル・環境コンサルティング・エコマネジメント

資源循環の総合ソリューションカンパニー

株式会社 リーテム

水戸工場 〒311-3116茨城県東茨城郡茨城町長岡3520 Tel:029-292-1220
東京工場 〒143-0002東京都大田区城南島3-2-9 Tel:03-3790-2100
本社 〒101-0021東京都千代田区外神田3-6-10 Tel:03-3258-8586
<http://www.re-tem.com/>

未来のために、よりよい自然環境を保全し、
希望と生命力にあふれた社会の実現に貢献します。



心を込めて、信頼できるカーライフ

茨城トヨタ

CROWN

MAJESTA



クラウン マジェスタ

茨城トヨタ自動車株式会社

水戸市千波町1887 〒310-0851

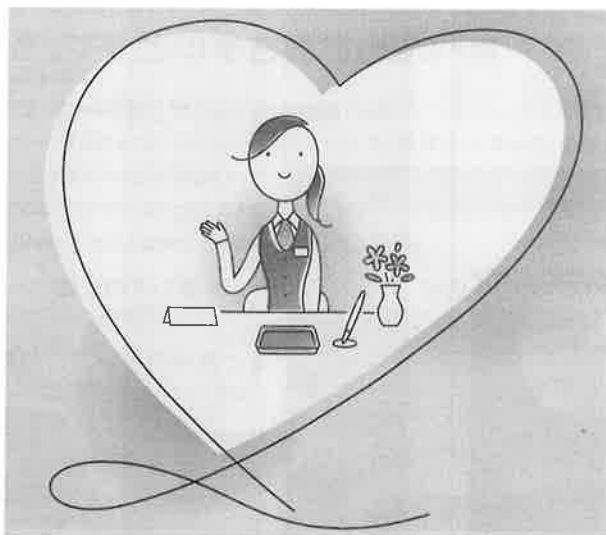
TEL 0120-090110

<http://www.nakama-online.jp/>

Drive Your Dreams. 人、社会、地球の新しい未来へ。



人に優しい銀行をめざして



常陽銀行はどなたでも
ご利用しやすい銀行を
めざしています。

ベストパートナーバンク



経営労務相談(無料)のご案内

当協会では経営労務相談の機能を強化し、会員企業様が抱える経営課題の解決に向けたサポート体制を整えております。

協会の顧問弁護士、社会保険労務士、税理士、経営コンサルタント等の各分野のエキスパートが様々な経営課題の解決に向けたアドバイスを致します。

開催日 毎週木曜日 ①10:00~12:00
(祝日は除く) ②14:00~16:00

会場 経営者協会・相談室
(水戸市桜川2-2-35 茨城県産業会館11F) 水戸駅南口より徒歩5分。

申込方法 下記TEL・FAXまたはE-mailにて各開催日の2日前までにお申込み下さい。

賃金関係 未払い残業代を請求されたがどのように対応すればよいのか?

労働組合 従業員の一人が加盟した労働組合から団体交渉を申し入れられた。交渉にどのように向かえばよいのか?

助成金制度 人員整理を回避するためにはどのような方法があるのか?活用できる助成金制度について教えて欲しい。

人事労務 人事制度の変更を行うとしたが、従業員から不利益変更ではないかと訴えがあった。

精神疾病 メンタル不全の従業員がトラブルを起こしたがどのように対応すべきか?

その他 事業承継の問題、資金繰りの問題、経営に関することの課題全般の悩みについて。

人事労務相談室
が総合窓口
(ワンストップ)

課題解決に
最適な専門家を
ご紹介



お問い合わせ:一般社団法人茨城県経営者協会 事務局(後藤)
TEL:029-221-5301 FAX:029-224-1109
E-mail gotou@ikk.or.jp